

ハンカチの約束

174番 済美平成中等教育学校

「まもなく、梅津寺です。」私は二十年ぶりに故郷を訪れた。ホームには幼馴染の涼太と七海が待っていた。

中学生の時のことだ。

僕は、父の転勤により都会に引っ越すことになった。出発は明日だ。最後の思い出作りに涼太と七海と今日一日この町で遊ぶことになった。朝の五時に堤防に集合し、朝ごはんを求めて釣りを始めた。自分たちで釣った魚はとても美味しく、これが最後かと思うと涙が出てきた。しかし、今日は始まったばかりだ。泣いている場合ではない。気を取り直して、海で二人と泳いでいると、気がつけばもう太陽は真上にあった。海の家で昼食をとり、午後からは梅津寺パークに行った。たくさんの乗り物に乗り、最後に観覧車に乗った。夕日に照らされた海を見て、この町に生まれて本当によかったと思った。

遂にこの町を離れる時が来た。『二十年後、みんなで会おう』そうハンカチに書き、ホームの柵にくくりつけた。

